

# 「ランチョンセミナー13」のご案内

日本臨床検査自動化学会第45回大会において、ランチョンセミナーを開催します。  
皆様のご来場をお待ちしております。



## ナトリウム利尿ペプチドBNP、ANP の最新知見とその臨床応用



**座長** 南野 直人 先生  
(国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部)



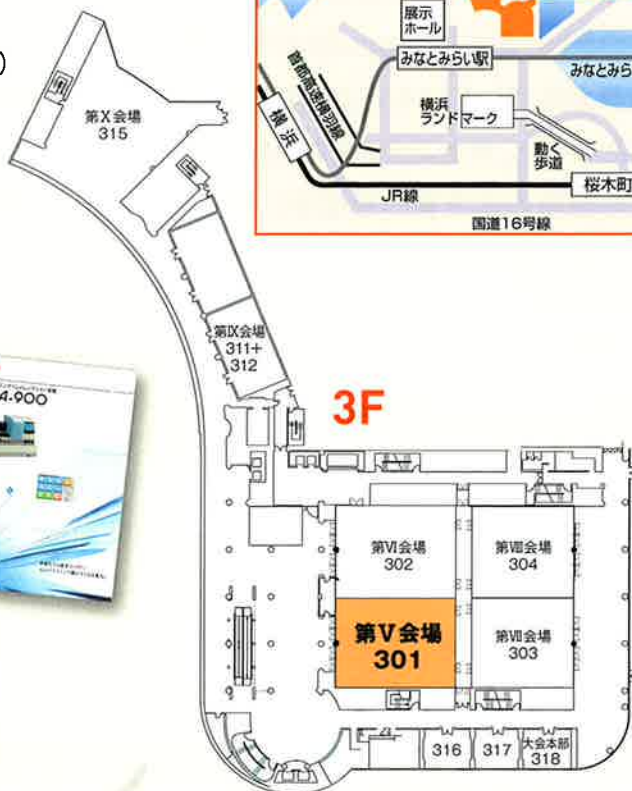
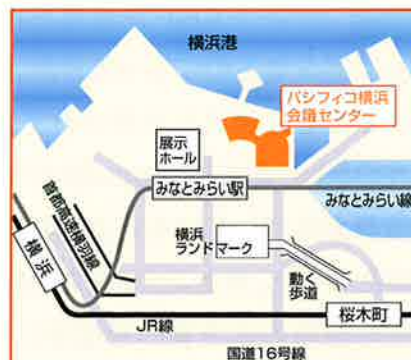
**講演者** 錦見 俊雄 先生  
(藤井病院 循環器科 / 京都大学 内分泌代謝内科)



**日時** 2013年10月12日(土)  
12時10分~12時50分



**会場** 第V会場  
(パシフィコ横浜 会議センター3F / 301号室)




本ランチョンセミナーは整理券制です。  
詳細は第45回大会ホームページをご覧ください。

同開催日にパシフィコ横浜・展示場にて、「臨床検査機器・試薬EXPO 2013」が開催されます。

共催

日本臨床検査自動化学会第45回大会

 東ソー株式会社

TOSOH

# テーマ ナトリウム利尿ペプチドBNP、ANPの最新知見とその臨床応用

座長 南野 直人 先生 (国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部)

講演者 錦見 俊雄 先生 (藤井病院 循環器科 / 京都大学 内分泌代謝内科)

**要旨** BNPやANPが発見されてから20年以上が経過し、現在両ペプチドの血中濃度の測定は臨床不可欠なものになってきた。特にBNPは心不全の臨床では世界規模での普及がなされ、ガイドラインでもその測定が推奨されている。最近、血中にBNPとともにその前駆体proBNPが多く存在し、現在のBNP測定系はproBNPも交叉して測定していることが明らかになった。さらにproBNPに糖鎖修飾がなされていることも判明し、糖鎖修飾がprocessingに関係する事も我々の研究を含めて明らかとなった。本セミナーではBNPの最新の知見と今後の方向性などについてもお話ししたい。ANPは現在も透析の体液量の管理等に用いられている。ANPについても新しい知見が増えてきているので、その一部を紹介する。

## 「臨床検査機器・試薬 EXPO 2013」展示会のご案内

### 会期

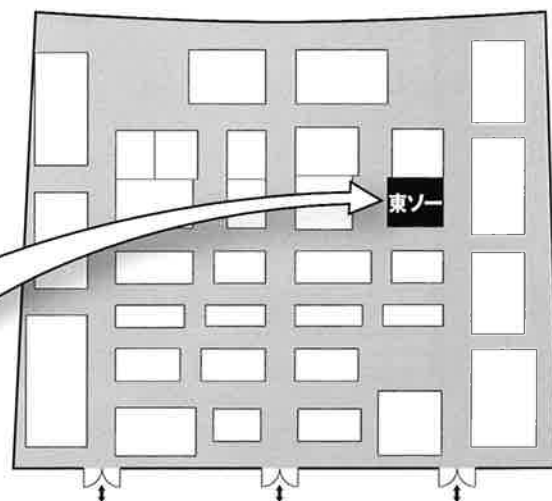
2013年 10月10日(木) 13:00~17:00  
10月11日(金) 9:30~17:00  
10月12日(土) 9:30~16:00

### 会場

パシフィコ横浜・展示場 ホールA・B  
東ソーブース No. 087

### 出 展 品

- 自動エンザイムイムノアッセイ装置 AIA-360
- 全自動エンザイムイムノアッセイ装置 AIA-900
- 全自動エンザイムイムノアッセイ装置 AIA-2000
- 酵素免疫測定試薬 Eテスト「TOSOH」IIシリーズ
- 自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723G9
- 自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723GX
- 遺伝子検査システム TRCRリアルタイムモニター TRCRapid-160
- 遺伝子検査システム TRCRリアルタイムモニター TRCRapid-480
- 核酸検出試薬 TRCRapidシリーズ / TRCRtestシリーズ\* (\*研究用)



東ソー株式会社  
バイオサイエンス事業部

東京本社 ☎(03)5427-5181  
名古屋支店 ☎(052)211-5730  
仙台支店 ☎(022)266-2341  
バイオサイエンス事業部ホームページ

大阪支店 ☎(06)6209-1948  
福岡支店 ☎(092)781-0481  
山口営業所 ☎(0854)63-9888  
<http://www.tosoh.co.jp/science/>